保険者事務共同電算処理による
出力帳票の変更等について協議

国保事務共同電算処理委員会

国保事務共同電算処理委員会は、２月５日（木)、府国保連合会で開催された。

開会にあたり、本会の森事務局長は今回の委員会を保険者事務の円滑な運営と事務処理に役立ててほしいと挨拶した。

委員長に選出された山田課長

委員紹介のあと協議に入り、正副委員長の選出について、委員長には亀岡市の山田百十保険医療課長、副委員長には京丹波町の伴田邦雄住民課長が選出された。

平成２１年度から、新・共電システムの稼働に伴う保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業における交付申請及び交付決定の出力帳票等の変更を含め、保険者事務共同電算処理による出力帳票について、新規帳票、廃止帳票、変更帳票の説明及び費用算定結果を付加したレセプトデータの提供について説明し、その他の協議事項も了承された。

また高額医療・高額介護合算制度（案）についても説明した。

その他の協議事項は以下のとおり。

１）被保険者マスタの変更について
２）医療給付費実態調査について
３）医療費通知について